

第11号

H30.1.1

理事長(1)大分市長(2)年頭のごあいさつ(3)部会長(4)互助会だより(4)互助会だより(6)指示板(7)

謹んで新春のお慶びを申じ上げます

大分市シルバー人材センター



庶務 育成クラブ 草刈り 剪定 庶務 庶務 業務(継続) 業務(継続) 草刈り 剪定 派遣 堀 小今井 上西 熊谷 池邉 後藤 清田 黒江 古原 木村 高橋

局長 家事援助 業務・派遣 家事援助 庶務 理事長 次長 庶務 佐藤(孝) 廣田 佐藤(薫) 幸野 右田 田部 那賀 佐藤(友) この人づくり革命には、

ر د ۲



公益社団法人 大分市シルバー人材セン

ざいます。 新年明けましておめでとうご

にも積極的にご参加いただくな を申し上げます。 ご高配を賜っており、 活動やシルバーふれ愛フェスタ はもとより、清掃ボランティア からお喜び申し上げます。 幸多き新春をお迎えのことと心 して三年目となりますが、 私も、 会員の皆様におかれましては、 当センターの運営に格別の 業務に精励されること 早いもので、 理事長と 厚く感謝 皆様

道

で800万人ともいわれる団塊 スピードで高齢化が進み、 きましては、 少社会を迎えております。 ご案内のとおり、 2025年には、 世界に類を見ない 我が国にお 人口 全国

> 芳明 右田 理事長 世代の方が、 上減少し、

済に暗い影を落とすことが危惧 社会保障関係費の増大と労働力 人口の減少が、 我が国の社会経

とが見込まれており、 年には、人口が現在 上の後期高齢者とな は実に四割となるこ より4000万人以 さらに2060 高齢化率 75歳以 には、 もって、 肝要であります。 にチャレンジし、 すが、我が国の成長を維持する する教育改革等も含まれていま 直しとチャレンジの機会を確保 ティア活動等に取り組むことが つになっても、誰にでも、 高齢者が、生きがいを 様々なことに積極果敢

就業やボラン

者に、 このような観点からも、 地域に密着した就業機会 高齢

誰 としています。 等の生産性革命とともに断行し、 り革命を、人口知能やロボット るため少子高齢化の克服に向け、 済の成長軌道を確かなものとす されています。 人生百年時代を見据えた人づく 億総活躍社会を創り上げよう こうしたなかで、 もが生きがいを感じられる 政府は、 経

> ております。 が大きくなっていくものと考え ンターは、 の提供等を行うシルバー人材セ 今後益々、 その役割

じめ、 策定いたしました中期計画に基 りますが、本センターは、 間契約額も伸び悩みの状況にあ ンターの会員数は減少傾向、 づき、新規会員の加入促進をは 全国的には、 剪定、 草刈り、 シルバー 草取り、 人材セ 昨年 年

> 予防・日常生活支援総合事業と てきております。 会員数、 ルバー派遣事業の拡充、 軽度作業等の請負委任業務やシ いった新たな業務にも取り組み 児童育成クラブ事業や介護 契約額とも順調に伸び さらに

学び

協力を賜りますよう心からお願 様方には、 組んでまいりますので、 年時代を見据えた高齢者の社会 な就業環境の整備等に鋭意取り 員の増強と業務の拡充はもとよ 参加の促進に配意しながら、 いを申し上げます。 本年におきましても、 財政基盤の確立、安心安全 より一層のご支援ご 会員皆 人生百

新年の挨拶とさせていただきま なりますようご祈念申しあげ、 して、この一年が輝かしい年と 結びに、会員皆様方にとりま







す。明けましておめでとうござい

ます。

な益社団法人大分市シルバー

のことと心からお慶び申し上げ

いがご関係の皆様方におかれま

にめご関係の皆様方におかれま

> 人口 おります。 ない課題であると認識いたして 推計されており、 2040年には約4万人に減少 最優先で取り組まなければなら る高齢者の就業環境の整備は、 在の約25%から34%に達すると する一方で、65歳以上の老年人 口は年々増加し、 は 現在 ー の 約 48 高齢化率は現 働く意欲のあ 万人から

おかれましては、会員の皆様がおかれましては、会員の皆様がとにより、高齢者の社会参加とにより、高齢者の社会参加とが、ないでおり、その役割は、今後と就業機会の確保にご尽力いたと就業機会の確保にご尽力いたとがでおり、その役割は、今後だいており、その役割は、今後だいており、その役割は、今後だいており、その役割は、今後に重要になるものと考えてさらに重要になるものと考えて

活支援総合事業にも参画していていただいているほか、本年の児童の遊びと生活の場を提供の児童の遊びと生活の場を提供の児童の遊びと生活の場を提供をしていただいているほか、本年の児童の遊びと生活の場を提供を また、平成29年7月には、貴

し上げます。
し上げます。
さめて、厚くお礼を申
をいただいているところでござ
をいただいているところでござ

本市におきましても、今後、

本市といたしましても、貴センターの取り組みを積極的に支援しながら、誰もが住み慣れた地域で生きがいを持って、健やかでいきいきと安心して暮らしていける地域社会の実現に向け、危策を展開してまいりますので、を員の皆様のより一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願とご協力を賜りますよう、お願とご協力を問りますよう、お願い申し上げます。

結びにあたり、公益社団法人 大分市シルバー人材センターの 今後ますますのご発展と、会員 の皆様のご健勝、ご多幸をお祈 のとりましてこの一年が健やか にとりましてこの一年が健やか にとりましてこの一年が健やか で実り多い年でありますことを ご祈念いたしまして、新年のご 挨拶といたしまして、



道

明けましておめでとうございます 各部会会長 新年のご挨拶

世情に適合した 部会運営を目指して



剪定部会 会長 木元 利廣 (松岡班)

良い新年をお迎えのこととお慶 ましておめでとうございます。 び申し上げます。 会員並びに職員の皆様、 あけ

となっております。 り方の検討が、 とりわけ剪定部会においては、 技術の向上はもとより、 延長を含む雇用制度改変の影響 急速な高齢化の進行に伴う定年 ですが、人口減少社会において さて、昨年も申し上げたこと れを踏まえた部会の今後のあ 当センターも例外ではなく、 最も重要な課題 時代の

難化が挙げられます。 対応できる新入会員の確保の困 具体的には、会員の高齢化に

> の多さも気になるところであり 併せて、最近の就業中の事故

えております。 の検討を進めてまいりたいと考 ともに、世情に合った部会運営 ための危機管理の徹底を図ると 術のスキルアップと安全就業の 確に応えるべく、今年も剪定技 このため、発注者の負託に的

指導・ご協力をお願いいたします。 ますので、引き続き皆様方のご 同鋭意努力していく所存であり 安全を第一義に剪定部会会員一 自覚し、共働・共助の理念のもと、 る剪定部会の位置付けと意義を これからも当センターにおけ

事故。〇。を達成しよう



草刈部会 会長 佐藤 健次

(佐賀関B班

います。

ます。 今年もよろしくお願いいたし

事故防止作業の徹底を図ってま ングの実施と安全基準の遵守・ 故が発生しました。 いりましたが昨年は、 部会では、 就業前のミーティ 4件の事

ていきたいと思います。 会員の皆さんの協力を得て「事 故゛0゛」の達成を目標に頑張 今年は、各班長をはじめ、 部

やっていきましょう。 互いに健康には十分留意して 年頭に当り寒さ厳しき折、 お



福祉·家事援助 サービス部会 会長 浦山かおる (東大分C班)

も昨年同様よろしくお願い します。 ておめでとうございます。本年 部会員、 職員の皆様明けまし いた

福祉・家事援助サービス部会

新年あけましておめでとうござ

度生活援助サービス) 等の仕事 身障者施設・市内個人宅・市役所 を中心に行っている部会です。 からの負託による生活支援 は、主に一般市民や老人施設 軽

康増進・高齢者による交通事故 婦さんによる会員さん自身の健 様・市の保健所職員様、 各地区包括支援センター職員 当部会員の皆さんに幅広い知識 低限のマナーサービス・接遇接 ただきました。 様による講習会も行い好評をい 多発抑止として大分県警交通課 行ってまいりました。又、保健 ト様による講習会、勉強会を 業の接客・マナーのエキスパー を身につけていただくために、 客態度が必要となっています。 そのためには、仕事上での最 一般企

さんの協力のもと色々な企画・ 方よろしくお願い致します。 務局職員さんと相談しながら皆 仕事量が多くなってきています。 いと考えていますので、ご協力 ここ2~3年は、特に当部会の 本年も部会員や地区役員、 講習会をやっていきた

づくりにまい進いたす所存でござい

道

事務局職員より 就業機会の確保に向けて 年頭のご挨拶

業務班主幹 佐藤 孝

年を迎えられたことと、こころより 皆様方におかれましては、麗しき新 新年あけましておめでとうござい 1500名の会員各位及び家族の

センターに対する業務のご依頼が増単純に人手不足なのでしょうか、当向いているからでしょうか、或いは、 特に感じることは、景気が本当に上 を仰せつかっておりますが、最近、 ン管理等の継続・派遣業務の調整役 お喜び申し上げます。 加傾向にあることです。 在、主にスーパー・公民館・マンショ さて、私事で恐縮ですが、私は現

らかのお仕事をご紹介できているの がいのある業務に励めるような条件 さんにご登録をいただき、より多く ではと自負しております。 を超えるなど大半の会員さんには何 至っておりませんが、就業率も80% の会員さんがより健康で、より生き 十二分にお客様の需要を満たすには 今後は、もっともっと多くの会員 残念ながら、会員不足も相俟って

しくお願いいたします。 本年も、どうぞ、ご協力の程よろ

平成三十年抱負 草刈部会 主幹

新年明けましておめでとうござい

支援賜りますようお願い申し上げま い年であったと思います。 くお過ごしのことと思われます。 本年も昨年同様に当センターをご 29年をふり返りますと大変に忙し 一陽来復を迎えごきげんうるわし

し、力を合わせ一丸となって取り組業先で何をすればよいのかをご理解 とを認識し、班長さんの声掛けに対 むしかありません。 しては快い返事、また、ご自分が就 するには、ご自分が事業主であるこ することを目標にしたいと思います。 客さまの希望にこたえるべく努力を ただくのと、ご依頼される多くのお 方で一人でも多くの方に就業してい 当センターに於いて就業を円滑に さて、今年は、草刈部会の会員の

くお願い致します なりますが、宜し で一番のご褒美のように思えます。 業していただくことが、当センター 昨年は事故件数が24件発生しました。しかしながら、安全就業が一番で、 お願いすることに この一年、会員の皆さまには協力 平成30年は会員全員が無事故で就



木村 正 剪定部会 主幹

熊谷一秋

シルバー人材センター会員の皆

感謝とお礼を申し上げます。 世話になっておりますことに改めて す。皆様方には、平素より本当にお あけましておめでとうございま

ことにお許しいただきたいと存じま する感想を述べさせていただきます すが、センター及び担当部会に対 か2年足らずの拙い経験ではありま ますが、剪定部会担当職員として僅 年頭にあたり、大変僭越ではあり

に伴う入会会員の高年齢化は避けら 齢化社会追随のための雇用制度改変 れないことです。 変化を如実に受けていることで、高 初めに、センターが社会情勢の

入会後講習までの見習制(仮称)の 対する満足な対応が懸念されます。 化に加え受講生は漸次減少、その結 なくされることで、新入会員の高齢 が年一回で最長一年間の待機が余儀 部会との違いと、更に技術修得講習 就業時間拡大の部門もあります)な の相応の時間の必要性とがあります 不可欠な専門技術の修得とそのため の確保の難しさで、発注者の負託に 果、部会員全体の高齢化と新入会員 し、剪定希望の新入会員さんには、 入会後すぐに就業可能(規制緩和で このため、講習までの期間を考慮 この、就業に特別な技術を要せず 次に、部会の特殊性、即ち就業に

導入が考えられます。

剪定部会の現状と課題

おります。 基に、真剣な取り組みが求められて に至らない多くのヒヤリ・ハットを また、安全就業は不可欠で、事故

きればと考えております。 は甚大なため、少しでも見直しがで に剪定部会に対する社会情勢の影響 このように、シルバーでも、

ついて種々検討を行い、犬歳に因み るため、社会情勢に適合する方策に 努力を参考に、堅調な実績を維持す 鞭撻をよろしくお願い申し上げます。 安産に努めたく、皆様方のご指導、ご 従い、これまでの先輩会員諸氏の

今年の課題

福祉・家事援助サービス 主任 佐藤 友紀

て頂けるかを沢山話し合いをしまし なく、役員の方とどうしたら参加し の地区集会で、部会員の参加者が少 昨年は、福祉、家援サービス部会 本年も宜しくお願いいたします。 あけましておめでとうございます。

て参りたいと思います。 会員のみなさまのための会を計画し 加して頂けるように集会を盛り上げ、 部会員のみなさまのご協力をお願 今年は、少しでも部会員の方に参

病気なく元気で就業できますように お祈りいたします。 今年一年、会員のみなさまがケガ、

いしたいと思います。

的とし、

誰でも全員

健やかなお正月を迎えられた事

会員の皆様方におきましては、

道

互助会だより

会員相互の親睦と融和を目指して

互助会 会長 博美

を作ることです。

への影響が心配される伊方原子

悩みや楽しみを語り合える機会

が参加でき、

異なった職場での

明けましてお目出とうござい

を越えた会員横並びの組織とし 見通しで、ひとえに作業部門で 期計画初年度の目標を達成する の皆様方の活動による成果であ お慶び申し上げます。 シルバー人材センターは、 方、当互助会は、作業部門 敬意を表するところです。 中



別子銅山史料館

図ることを 親睦融和を 進と相互の

研修親睦旅行(一泊二日) 奥道後温泉

三・ボウリング大会 二.第二回 ふれ愛フェスタ開催 (本年二月二十一日) 開催予定

と思います。 事と共に各種ボランティア行事 新しい試みを模索して行きたい 続しながら、役員と協議を重ね の参加、同好会の助成等を継 平成30年度は、これら三大行

受けました。



楽しく有意義だった 研修親睦旅 行

に渡りました。 ス二台にて佐賀関経由で愛媛県 平成29年10月19日~20日、 一日目、事故発生時には大分 バ

主要行事として左記の様に実行 平成29年度は、計画に則り、 予定しています。 力発電所ビジターハ

施設で、当日は3D 0の状態)、ここは、 の対策などの説明を ラブルが発生した時 映像、模型、万一ト すく説明するための 原子力発電について 三号機点検中で出力 所は一、二号機停止、 ウスを訪問。(発電 般見学者に判りや

宿泊。 作業の困難さ 会員紹介運動の展開等の説明が 負契約の派遣契約への切り替え 幹によりセンターの現状 研修会では事務局 夜は、奥道後温泉壱湯の守に 研修会と懇親会を行い、 ②会員が夫々新 佐藤孝一主 ① 請

> 嬉しく思いました。 常に良かった』との言葉を聞き 席者から『普段聞く機会が少な 行われ、 い話を聞く事が出来たのは非 研修後の懇親会では出

産 二日目は日本三大銅山のひと 新居浜の山中に眠る産業遺 別子銅山を見学。こんな山

伊方発電所全景 奥に水力発電所 約3800人も 整備されていて、 娯楽場、 残されていて当 銅搬出用鉄道駅 どの生活施設も た。学校、病院、 時が偲ばれまし 舎等関連施設が の人達が暮らし (明治45年建設) 社宅な



た。

ました。 に到着し、 でしたが、 あいにくの雨の研修親睦旅行 実り多い旅を終了し 予定通り大分に無事



様に野菜・果物などたくさん の商品を提供いただきました

社会福祉法人シンフォニー

天に恵まれ多くの方に来場いただき開場前から長蛇の列が出来ました。 昨年11月12日に第2回ふれ愛フェスタを開催いたしました。当日は晴 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。 庶務班 池 邉 義

幸







外に用意されたブ きました。また屋 の方に楽しんで頂 釣りなどたくさん 綿菓子・ヨーヨー 親子連れも見られ で遊ぶお子さんや ランコ・揺り椅子 ポップコーン







ました が用意され商品を買 ザー品販売コーナー 衣料品の販売やバ 員手作りの手芸品 い求める人で賑わい 屋内の会場では会



価より安価とあっ 物コーナーでは市 求めていました て多くの方が買い 屋外の野菜・果

終了しました。 上の皆さんに来場いただき盛大裏に無事 当日は住民の方々をはじめ540名以

ますので会員皆様のより一層のご協力を 申し上げます。来年以降も開催して参り お願いいたします。 準備・運営に携われた皆様に心より感謝 参加された多くの会員の方々事務局職員、 開催に当たり出展またボランティアで



朱に染まる 日

0) 眺めつつ 扉開けゆく

赤い靴

春をさがして

土を踏む

徘

句

春よ春よ

背中かくして

ランドセル

道

白雪は

降り積もり 落葉の上に

衛藤 勝行 (判田東班

幼な子と

老いの余白を

塗りつぶす

樹林静まる

短 歌

> 孫十人 バアバの稼ぎの 阿部泰子 (明野巨班)

お年玉

おひと

がい込まれる 蛛の系

苦

119

柳

相互の交流

0)

編

集

後

記





知恵と技

まだまだ健在 渡辺 靜雄 (宗方 八班) シルバー世代 腿 してはりけばい事しなけんは、本ならない事

活

分別や「助っ人

除夜の鐘

歳末の

号

四童子 弥生 (南大分A班)

牧 一男(東大分A班 クリスマス

新雪 1 僧列寺に 綿に のせかへ もどりくる



信頼が

築く友情

色を増す

後藤 由紀子 (戸次A班)

-だより

- 発行/平成30年1月1日
- 発行所/

公益社団法人大分市シルバー人材センター 〒870-0026 大分市金池町3丁目2番3号 TEL 097-538-5575 FAX 097-538-5576

ホームページのご案内

http://oita.o-sjc.com/

原田 博文 (城南班

会報編集委員

那賀 美保・池邉:幸野 正市・後藤・

義幸

開することにより新年もセンターの更 ます。心配は交通事故です。来所され ご苦労の中にも楽しそうに就業してい 4年生までの児童28名を放課後に預 クラブを開設し、金池小の一年生から ご協力をお願いいたします。 なる発展に努めますので会員皆さんの は新年度の4月からを予定しています。 護予防日常生活支援総合事業」に参入 とを忘れずに徐行運転をお願いします。 る会員の皆さんには、子供たちがいるこ 声を聴くとセンターも活性化した気分 かっています。子供たちの元気な姿や サービスを提供するものであり、運用 方を対象に洗濯、清掃、買い物などの し、これは介護認定の要支援ー、2の です。10名の会員さんが指導員として このように、各種事業を積極的に展 また、新年には新たな事業として「介 昨年は7月に当センターに児童育成